

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかに迎えられることとお慶び申上げます。昨年中は当法人の事業運営に多くの方々よりご協力いただき厚く御礼申し上げます。

WORKS

Empower&Energize



No147
2022/01

2022年 新年のご挨拶

昨年は、新型コロナウイルス感染対応と虐待防止を大きなテーマに事業を進めた一年でした。感染対応については、オミクロン株の市中感染も始まり、高まりつつある感染への不安の軽減、また、虐待防止に関しても、利用者、家族に安心して利用していただけるよう、今年も引き続きこの二点を重要課題として取り組んでいきたいと思いま

す。

昨年は、新型コロナウイルス感染対応と虐待防止を大きなテーマに事業を進めた一年でした。感染対応については、オミクロン株の市中感染も始まり、高まりつつある感染への不安の軽減、また、虐待防止に関しても、利用者、家族に安心して利用していただけるよう、今年も引き続きこの二点を重要課題として取り組んでいきたいと思いま

す。

昨年は、新型コロナウイルス感染については、昨年七月に感染者が一名確認され、利用者はレジデンス日進・上ノ山ホームから一步も出られない状況となりました。猛暑の中、職員もシャワーキャップにフェイスシールド、防護ガウンを

行動障害のある自閉症者への対応に

わり行動や自傷・他傷などへの対応に

なり、解決の糸口が見つからないこと

で徐々にプラスチック製の容器が蓄積されています。その自己の感情をコントロールしながら利用者と向き合って

いくのですが、コントロールしきれなくなつたとき、また、職員が自身の価値観の中で「利用者にはこうであつてほしい」という思いが一定量を超えてしまうと、身勝手ともいえるのですが、無意識のうちに、厳しい言葉であつたり、行動を制止する対応を引き起こしてしまいます。

行動障害のある自閉症者への対応には、イライラや怒りといった感情をコントロールするアンガーマネジメントも大切ですが、障害特性の理解が重要な意味を持っています。そのため、職員には少しずつ强度行動障害支援者養成研修に参加してもらっています。この研修で、職員は様々なことを学んできてくれるのですが、その中でも、彼らは「困った人」ではなく「困っている人」という説明が印象深く残っています。

大変なことではありましたが、貴重

虐待防止の柱となる虐待防止委員会についてですが、令和四年度の設置に向け、当法人の大野理事にこの会の取りまとめ役を担っていただき、準備会をスタートさせました。第一回目は事業所管理者のみの参加でしたが、二回目は副所長も参加しました。今後はサービス管理責任者、看護師等に参加



な体験を踏まえ、新型コロナウイルス感染に関する事業継続計画の見直しをおこないました。この計画を少しづつ経過することができます。いつ感染してもおかしくない、いずれ感染者が出るだろうと思いながらも、いざ現実に直面すると、これまでに経験したことのない負荷が職員に襲い掛かりました。現場の支援員は言うまでもありませんが、看護師、栄養士、事務センター職員が「クラスターを発生させない」という思いで日々業務に取り組んでくれたことに感謝しています。

また、日進市行政、特に健康福祉部の方々には、感染者確認以降は保健所や保健センターに連絡を取っていただき、それ以前にも障害者支援施設職員のコロナワクチン優先接種においては、少しでも早く全職員が接種できるよう様々な配慮をしていただきました。ふくしまファミリー内科の福嶋俊郎医師にはすぐに事業所に来ていただき、濃厚接触の可能性のある方にPCR検査をしていただきました。職員だけでなく、地域の関係機関にもご協力いただき、幸いにも感染拡大を防ぐことができましたこと、心より感謝申し上げます。

行動障害のある自閉症者への対応に

わり行動や自傷・他傷などへの対応に

なり、解決の糸口が見つからないこと

で徐々にプラスチック製の容器が蓄積されています。その自己の感情をコントロールしながら利用者と向き合って

いくのですが、コントロールしきれなくなつたとき、また、職員が自身の価値観の中で「利用者にはこうであつてほしい」という思いが一定量を超えてしまうと、身勝手ともいえるのですが、無意識のうちに、厳しい言葉であつたり、行動を制止する対応を引き起こしてしまいます。



特に当事者の参加については極めて重要な項目であり、その選出方法も慎重に検討していく必要があります。二回目の準備会において、一昨年のメイツ・ワークスでの虐待の件で、利用者にも聞き取りをおこなつた際に、虐待そのものの理解がむずかしいこと、個別面談のような形式で尋ねられることへの戸惑い、虐待を思い出すことへきなかつたという意見が出ました。この経験を踏まえ、最初から虐待防止委員会に出席してコメント等を求めるよりも、各事業所がおこなつている外出企画の行き先を出し合ったり、コーヒータイムのデザートを考えたりする利用者ミーティングの中で、利用者が気になつていること、不安に思つていてることを掘り起こしていく方向で進んでいます。

当法人に限らず、職員による虐待の対象となる可能性が高いのは行動障害のある自閉症者ではないかと思われます。職員は、利用者の終わらないこだ

終わらないこだわり行動、自傷・他傷をする「困った利用者」に対し、私たちには「困っている支援者」のつもりでいるのですが、本当に困つているのは支援者ではなく、利用者自身だと思います。当法人の職員に限つたことかもしれませんのが、この話を理解はできるが納得するところまでには至っていないところがあるようです。

しかしながら、現実として名東福祉会に求められる地域のニーズは「行動障害のある自閉症者」の事業所利用です。ただ、行動障害のある自閉症者に

対応するためには、障害特性を理解するだけではなく、納得した上で環境調整が必要となります。各事業所で試行錯誤しながら取り組んではいますが、正直、力不足であることは否めません。

この点を強化することを課題と位置付けることでニーズに応えていきたいと考えています。昨年四月から行動障害のある自閉症者への対応の強化を法人の内部研修としてスタートさせていました。

この研修の大きな目的は、行動障害のある自閉症者への対応の強化ですが、これまで各事業所が苦戦しながらも事業所ごとに対応を検討し、実践してきました。結果としては、正直なところ十分と言えるほどの成果を上げることができいません。そこで、新たな取り組みとして事業所間で連携して対応していくための準備をしていこうというものです。

具体的には、各事業所でおこなっていきた行動障害のある自閉症者への対応をメイトウ・ワークスに一本化させていくことになります。これは、令和三年度から四年度にかけての法人の課題でもあります。これまでの実績を考慮した職員配置、環境調整に必要な設備

整備をメイトウ・ワークスに集中させることで、人と費用を分散させた実践から、より効率性の高い集中型の実践に切り替えていきます。

さらに、このように設定されたメイトウ・ワークスでの支援を誰が利用するのかですが、家族や移動支援等による送迎を考えると、地理的な条件においてメイトウ・ワークスとはまなすの連携が比較的スマートであることから、両事業所の中で調整する方向で進めていくことになるかと思います。

はまなすは、事業開始以降、作業とレクリエーション、散歩を取り入れた日中活動を開いています。基本的にこのスタイルを大事にしていきますが、少しだけ作業面の強化をしていくと考えています。生活介護事業所ですが、作業をおこなうことで工賃を得られることに満足を感じられるはまなすと、行動障害のある自閉症者の支援に積極的に取り組むメイトウ・ワークス、それぞれ特徴のある日中活動支援を目指します。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

メイトウ・ワークス管理者

磯部 敦志

最後になりますが、皆様にとりまして新しい年が良い年でありますようにお祈りして、新年の挨拶とさせていただきます。

なお、このあと各事業所の管理者からもご挨拶させていただきます。

振り返れば、昨年は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響の中、まずは立った時点で、両事業所の利用者および家族の方々には、ご説明させていたいのですが、皆様のご理解とご協力を得て、丁寧に積み上げてまいりました。

この課題が軌道に乗るまでには時間がかかるかと思いますが、皆様のご理解とご協力を得て、丁寧に積み上げてまいりました。

3

もあり準備が予定どおり進んでいました。半年ほど遅れることになってしまった

いですが、メイトウ・ワークス、

はまなすそれぞの整備の見とおしが切り替えていきます。

さらに、このように設定されたメイトウ・ワークスでの支援を誰が利用す

るのかですが、家族や移動支援等によ

る送迎を考えると、地理的な条件にお

ける送迎を考えると、地理的な条件にお



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

天白ワークス管理者

小川 照美

新年あけましておめでとうございました。ご利用者、関係者の皆様におかれましては、日頃より当施設の運営についてご理解、ご協力をいただき、感謝申しあげます。おかげ様で、昨年一年間コロナ禍の中、心配する日々でしたが、何とか過ぎることができました。

昨年の活動も引き続き縮小・自粛せざるを得ない状況で何を提供できるのか模索する日々でした。このような状況の中、下請け作業の減少、バザー等の中止で製菓製品・陶芸製品の販路が縮小され、日々の活動内容も考えていかなくてはならなくなっていました。

作業室では、下請け作業に代わるものを探してみたり、別館（以前の就労継続支援B型）も合わせて創作活動の時間も増やしてきました。生活介護一本になっていたので、作業以外にも支援をおこなっていきたいと思っております。これまで以上に連携を取りながら支援をおこなっていきたいと思います。



最後になりましたが、今年も引き続
きご理解・ご協力の程、よろしくお願
い申し上げます。

ようにしていくことが大切になってくると思っています。個々の利用者の方に合わせた環境整備・活動内容の検討、実践。創作活動やレクリエーション活動の充実を図ることも取り組んでいます。これまで以上に連携を取りながら支援をおこなっていきたいと思っております。

虐待防止や強度行動障害への取り組みも法人内でおこなっています。話しあ合った内容を参加していない職員にも伝え、天白ワークスの活動や支援にも活かしていきたいと思っています。
また、利用者の方が毎日、天白ワーカスに安心して通所でき、充実した活動ができた、楽しかったと思える施設を目指していきたいと考えています。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

はまなす管理者

佐古田 隆光

今年こそは少しでも状況が良くなれば、これまで縮小・自粛してきた活動（お出かけ・音楽療法等）もおこなっていけるようになることを願っています。

新しい年を迎え、利用者様、ご家族様、関係者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。毎日、利用者様やご家族様と楽しく会話をしたり、がんばって作

考えていってもいいのではということ
で、レクリエーション活動の充実も図つ
た一年でした。

ただ、現状として外出するプランは
できない、密になる活動は難しい中、
その前から少しづつ始めてきていた月
一回のレクリエーション活動を今年度
から本格的に開始することにしました。
職員を三グループに分け、持ちまわり
で企画していくものです。現状の中で
どんなことができるのか、どんな楽し
みを提供できるのかを各月ごとに提案
してもらいました。活動時間としては
月一回午後のほんの少しです。それで
もそのレク活動をおこなうために様々
なものを「今度○○おこなうからこれ
を作ろうか」と利用者の方と一緒に作っ
ていくという時間も取り入れることが
できました。

初詣やお花見。例年だとお出かけ企
画でおこなってきたのですが、感染
状況悪化で外に出かけることは見送り、
お手製のおみくじ・神社でお参りした
り、天白ワークスのグラウンドの桜を
みながら、お菓子を食べたり…。少し
でも雰囲気だけでも味わえるような形
を取りました。

以前からおこなってきたゲーム等を
取り入れた企画もありました。
それでも感染状況の落ち着いた期間
に半日だけですが、公園に散歩に出か
れることもできました。ほんのわずか
な時間での外出でしたが、表情は明る
く、気分転換になったようでした。

それでも感染状況の落ち着いた期間
に半日だけですが、公園に散歩に出か
れることもできました。ほんのわずか
な時間での外出でしたが、表情は明る
く、気分転換になつたようでした。

また、すぐに行動に変化がなくとも
できることで最近落ち着いてきた、この行動
に介しての打ち合わせ・会議ができる
ものが現状です。日々の業務の事、利
用者支援に関わる事をいかに全職員に
浸透させていくのかが大きな課題の一
つになります。方向性や対応にて
は見せなかつた行動等が出てきた時
もありました。職員は迷い、どうした
らいいのかと考えます。周りの環境を
てくれていました。調子がいい時ばかり
ではなく、落ち着かない時やこれまで
では見せなかつた行動等が出てきた時
もありました。職員は迷い、どうした
らいいのかと考えます。周りの環境を
くることもあります。でもそこから一
度離れ、客観的に物事を捉え、利用者
の方の行動がよい方向へと変化す
ることもありますが、何に困っている
のかがわからない、どうしたら落ち着
います。

天白ワークスでは、日中の時間帯の
企画でしたが、今後も引き続きおこな
うか。
「ありのままを引き受ける」「気持ちに
寄り添う」ことが大切ではないでしょ
うか。

今、一つ一つ丁寧な対応を続けていく
ことで最近落ち着いてきた、この行動
に介しての打ち合わせ・会議ができる
ものが現状です。日々の業務の事、利
用者支援に関わる事をいかに全職員に
浸透させていくのかが大きな課題の一
つになります。方向性や対応にて
は見せなかつた行動等が出てきた時
もありました。職員は迷い、どうした
らいいのかと考えます。周りの環境を
くることもあります。でもそこから一
度離れ、客観的に物事を捉え、利用者
の方にどうすれば良いのかを考え、話
し合いをすることや具体的な支援、環
境作り、対応の仕方を統一していく
ことがあります。

業をしたり、普段の日常生活の中で、
あたり前の毎日がとてもありがたいと
思える時があります。はまなすへ出勤
して、利用者の皆様やご家族の皆様を
お迎えする時に「今日も元気かな、体
調は良さそうかな」と毎日確認してお
ります。利用者様やご家族様が元気だ
ととてもうれしい気持ちになり、私自身も元気になります。皆様からパワー
をいただいています。あたり前の毎日
に感謝をして生活していき、コロナが
収束した時に行事やイベントが再開されたら、もっととありがたいと
感謝できるのではないかと思っていま
す。コロナ禍で本当に大切な物を再確
認できました。皆様と一緒に楽しむ活
動したり、おいしい給食を一緒に食べ
たり、毎日を笑顔で過ごすことが一番
大切なだと感じております。

はまなすは、午前中、作業プログラ
ム、散歩プログラムをおこない、午後
からは、レクリエーション活動を中心
に、作業プログラム、散歩プログラム
をおこなっています。作業プログラム
については、ボルトとナットを締める
工程、袋に部品を入れテープを貼る工
程、袋に部品を一〇〇個入れる工程が
あります。この部品は、トイレに使用
する部品です。作業を通して社会貢献
しています。

昨年は、グループハイク、スポーツ
交流会、ブール活動等、外出を伴なう
イベントや毎月おこなう家族会等がで
きませんでした。利用者様、ご家族様、
ボランティアの皆様には、大変迷惑
をおかけして申し訳ございませんでした。
た。その中でもはまなす利用者様と職
員でできる行事を考え、新しいイベ
ンツを作り、がんばって作
りしています。これからは、健康の

ためにウォーキングに力を入れていきます。
たいと考えています。



ご寄付ありがとうございます

令和3年4月1日～令和3年12月31日

◆メイトウ・ワークス

近藤 正俊 様 酒井 文雄 様

◆天白ワークス

青山 武司 様 加藤 真澄 様 北川 史郎 様 近藤 進子 様
時津登志枝 様 長井 淳 様 丹羽 文芳 様 水嶋 正直 様
水谷 義孝 様 村口 龍一 様

◆はまなす

今津 俊典 様 大伴 幸三 様 加藤 公英 様 木村 恵子 様
佐知美津子 様 杉原 活好 様 鈴木 和子 様 中井 昌誉 様
原田不二夫 様 藤井 淳子 様 藤田 忠弘 様 望月 正巳 様
麥島 厚 様 肆矢 弘光 様 山田 幸造 様

◆レジデンス日進

伊藤 和幸 様 北川 史郎 様 近藤 正俊 様 林 輝夫 様
原田不二夫 様 レジデンス日進家族会 様

◆上ノ山ホーム

伊藤 和幸 様 近藤 進子 様 上ノ山ホーム家族会 様

◆本部

神谷 光春 様 松田 妙子 様 片野 篤子 様

レクリエーション活動は、午後からの活動になります。月曜日は、陶芸担当の三上職員に教えてもらいたいながら陶芸を楽しんでいます。火曜日は、足湯と公園でスポーツ活動、水曜日は、換気をしながらカラオケ、月に一度、音楽療法士山本先生による音楽活動、木曜日は、はまなす玄関に飾る大きな貼り絵制作や好きな絵を描く創作活動、金曜日は、ビーチボールを使用したバーボール、ご近所をウォーキング、



バランスボールやマットを敷いて軽運動等の身体活動をおこなっています。その他にも、ソフトボール大会もユニホームを着て楽しく参加しています。皆様が、楽しみながら、芸術やスポーツ、色々な活動を通して、自分の存在を表現できるものを見つけていきたいと思っています。

はまなす職員に関しては、虐待防止や強度行動障害、利用者様支援に必要な外部研修や、支援リーダーの仕事研修によって、職員一人ひとりがスキルアップを図れるようになってきました。名東福祉会の職員一人ひとりが力をつけていくことにより、利用者の皆様へすばらしい支援が出来るようになります。

はまなすの今年の抱負につきましては、利用者の皆様、ご家族の皆様、ボランティアの皆様、職員が健康で、安心して、楽しく充実した時間を過ごせるようにしていきたいと思います。一人ひとりの思いを大切にしていき、一人ひとりに合ったペースで活動ができるようになります。あと、利用者の皆様の強みや、得意なことを見つけ、その強みや得意なこと、好きなことを活かしながら生き生きと生活できるようにしていきたいと思っています。

修会、施設環境コーディネーター研修、虐待防止委員会等法人内の研修を受けたことによって、職員一人ひとりがスキルアップを図れるようになってきました。名東福祉会の職員一人ひとりが力をつけていくことにより、利用者の皆様へすばらしい支援が出来るようになります。名東福祉会に図られるようになると信じております。名東福祉会を支える次世代の職員を育てていくことも重要だと考えています。安心して次世代の職員へバトンを渡せるようになるため、しっかりと人材教育、人材育成に力を注げる名東福祉会にしているべきです。

7

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>



●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 日進市浅田町上納58-4

TEL 052(805) 1003 FAX 052(805) 1004

●メイトウ・ワークス（生活介護）

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL 052(702) 2864 FAX 052(701) 2079

●天白ワークス（生活介護）

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町327

TEL 052(804) 5487 FAX 052(804) 5416

●はまなす（生活介護・相談支援）

〒465-0054 名古屋市名東区高針台1-911

TEL 052(704) 7551 FAX 052(704) 7552

●レジデンス日進

（施設入所支援・短期入所・生活介護）

〒470-0124 日進市浅田町上納58-4

TEL 052(805) 1003 FAX 052(805) 1004

●上ノ山ホーム（グループホーム）



← 『WORKS』 バックナンバーはこちらから

8